

# あゆみ ~挨拶・友情・未来~

## 「歩く日 約 10 km 完歩！」

平成最後の年の 4 月 12 日（金）に晴天の中、坂出市府中にある、県立埋蔵文化財センターへ行ってきました。行きは、JR 坂出駅から JR 讃岐府中駅まで、電車で。帰りは、中学校まで約 10 km の道のりを徒歩で帰ってきました。みんな級友たちと仲良く、会話を楽しみながら元気よく歩きました。約 10 km もの道のりを一人で歩くのは困難かもしれませんが、



【埋蔵文化財センターの屋上から「はい ポーズ！」】

が、“友だちがそばにいるから頑張れる！”ことを実感した一日になったのではないのでしょうか。

5 月 14 日（火）から 17 日（金）には、3 泊 4 日で五色台集団宿泊学習に行きます。「虹色に輝け！～蕾から花を咲かせよう！～」のテーマのもと、班や学級、学年の仲間と協力し合うことを通して、一人ひとりが成長し、色とりどりの花を咲かせましょう！また、そうすることで、虹色のように輝かしい色、2 年団にしか出せないような輝かしい色を出せる、そのような集団をつくり上げましょう！！

### ≪「歩く日」の振り返り記述より ~私にとって今日の「歩く日」は... ~≫

○ 「過去の日本を見つめなおす日」となりました。今まで私は、昔の人が勝手に作って使っていただけだと考え、あまり深く知ろうとしたことはありませんでした。けれども、今回体験したり、実際に触れてみることで、昔の人の知恵が無かったら今の便利な道具などはなかったかもしれないと考え、もっと昔の話を聞きたいと思えました。約 8.7 km を歩いて帰るのは大変でとても疲れたけど、この歩いて帰った事も含めて、初めてのことがたくさんあったので良かったと思えました。

○ いつも以上に、絆を育むことができる最高の日です。理由は 2 つあります。1 つ目は、普段あまり話さない人とも話すことができるからです。2 つ目は、クラスの人たちと何かを一緒に行うことができたからです。また、私にとって「歩く日」は、自分の考えを変えられる場所にもなりました。「歩く日」よりも前の私は、「歩く日」は、仲の良い子といつも以上にいられるし、話す機会が少ない人ともいられる日としか思っていませんでした。でも、「歩く日」にみんなと県立埋蔵文化財センターに行くなどしているうちに、私の考えは変わりました。変わった後は、「歩く日」は、クラスのいろいろな人と交流できるということだけでなく、「歩く日」に関わってくれた人がたくさんいて感謝しないといけないということを分らせてくれる場所と思うようになりました。関わってくれた人にしっかり感謝したいです。

○ 私にとって「歩く日」は、坂出の歴史に興味・関心を持たせてくれるものでした。まず、最初は新宮古墳を見ました。思ったより大きな岩で作られていたのに驚きました。次に火おこしをしました。想像以上に大変だったけどすぐに火がついて良かったです。その後、坂出の歴史について話を聞きました。学校では学んだことのない深いところまで学べて良かったです。帰りは、約 8.7 km の道のりを歩いたのでとても疲れたけど、坂出の歴史について深く学べて良かったです。

○ 今日は、家や学校では学ぶことができないことをたくさん学びまし



【満開の桜並木の下を...】



【新宮古墳の中に、入ってみよう！】

た。火おこし体験では、うまく火をつけることができなかった。昔の人が、どれだけ苦勞をして火をつけていたのかが分かりました。歴史的なこと以外でも、1年生の時はクラスが違って、あまり話をしなかった人とも話すことができ、友だちの新たな一面を発見することができました。「歩く日」で学んだことを、来月の五色台学習でも活用し、メリハリをもっとつけて、良い五色台学習にしたいと思います。



【男子みんなで“指スマ!”～ゴールが見えない～】

○ 普段は見えないような香川の遺跡や、火おこしの道具、



【本物の土器を組み立てられるかな?】

穴式住居の模型等を見るこ

とことができました。私は、特に穴式住居の模型が心に残りました。道具がなかった時代、あんなにも大きなものを作るなんて大変だろうなと思いました。家すべてが木やわらでできているので、引火したら一瞬で焼けてしまうだろうなと思いました。冬にそんなことは無かったのでしょうか…。自分からは、香川の歴史を知りに行こうなんて思わないし、約9kmを歩こうとも思わないので、今回の「歩く日」は、とても貴重な経験になりました。

○ いろんなことを知るきっかけになった。例えば、穴式住居は、わらではなく“アシ”や“ヨシ”でできていることを初めて知ったし、火おこしも初めての体験で、火をおこすことがどれだけ大変なのかを実感できた。土器や須恵器、讃岐国府跡を見たのも初めてで、坂出の歴史についてたくさん知ることができた。帰りの8.7kmは本当に大変で、周りの景色を見てくじけそうになったけど、ずっと隣でペースを合わせて歩いてくれた友だちや面白いことをして笑わせてくれた友だちのおかげで何とか到着できた。最後の「歩く日」は、私にとって貴重な体験や思い出となった。

○ 友だちとの団結力を深めることのできるものだと思います。センターでの火おこし体験では、4人で力を合わせないとつけられないものです。その中で、協力していくことで火をつけることができます。帰りの8.7kmの道のりも1人だったら絶対に歩いたりしないけど、友だちがいるからゲームをしたりして、時間が早く感じ、歩ききることができました。このようなことで、クラスの団結力が高まったと思います。運動会などの行事も協力して一生懸命頑張っていきたいです。



【まだつかない?もうついた?】

○ 新しいクラスになってから、たったの一週間で知り合いのほとんどが別のクラスだったので、正直不安でした。でも、帰りの8.7kmでは、楽しく帰ることもでき、帰ってきたときも「もう、帰ってきたんだ!!」と思うくらいでした。センターでは、実際に本物の土器に触ることができて、驚きました。今回の「歩く日」は、社会科が嫌いな私でも楽しく坂出の歴史が学べたし、そして何より友だちとの交流ができた貴重な体験でした。これからも、友人と協力する機会が多いこの学校で、多くの人と交流したいです。

#### 《「歩く日」 五・七・五》

- ◇ 古と 変わらず今も 舞う桜
- ◇ 桜舞う 長い道のり 友の声
- ◇ 友情と 歴史の知識を 深めた日
- ◇ けむりちゃん でてきたけれど 消えちゃった
- ◇ 火おこしで 次の日絶対 筋肉痛
- ◇ 二頭筋 爆発しそう 火おこしで などなど

※今月号より、来月の主な行事予定等は、別紙にて配布となります。また、学校ホームページもご覧ください。